

鳥取市 S m i l e 月間中の取組（鳥取市立神戸小学校）

「すてき聞いちゃいます」（6/12～7/10まで、毎週金曜日のお昼の放送で）

お昼の放送時間に、いつもは、「ひみつ聞いちゃいます」という、友だちインタビューの企画を、smile月間に合わせて、クラスごとに友だちやクラスのすてきを「すてき聞いちゃいます」と題して、紹介し合いました。お互いに友だちのよい所を紹介し合ったり、クラスのよい所を紹介し合ったり、担任の先生から見たクラスのよい所も話していただきました。放送で聞いている方も、あの人はこんなすてきなところがあるんだと改めて知るよい機会にもなりましたし、よい所をたくさん話したり、聞いたりして、みんながとてもうれしい気持ちになれる時間になりました。



6年生の「すてき聞いちゃいます」

「チャレンジ集会」（6/25 5時間目）

UHK（U：運営，H：放送，K：神戸小）委員会児童の企画によるチャレンジ集会では、①「くつ飛ばし」（「ゲゲゲの鬼太郎」ばりに、どれだけ遠くにくつを飛ばせるかにチャレンジ）、②「新聞乗り」（新聞を1/2，1/4，・・・とだんだん小さく折っていき、何人乗れるかにチャレンジ）、③「ジェスチャーゲーム」（お題をジェスチャーで班のみんなにいかに分かりやすく伝えるかにチャレンジ）をなかよし班対抗で行いました。

子どもたちが主体となって行った集会で、どの子もいい笑顔で過ごし、仲間との絆も深まった1時間となりました。

チャレンジ集会が終わった時、企画・運営にあたったUHK委員会の児童に、「楽しかったので、またしてほしい。」という声が多く寄せられ、UHK委員会児童もとても満足し、次への意欲を高めていました。

くつ飛ばし



ジェスチャーゲーム



新聞乗り①



新聞乗り②



新聞乗り③



「砂見太鼓の全体練習開始前の教え合い」より（7/1 5時間目）

神戸小学校では6年目を迎えた砂見太鼓です。今年度は、4、5、6年生の子どもたちに楽器の希望を聞き、オーディションをして担当を決めました。オーディションまで、必死に練習する子どもたちの姿からはやる気が十分に伝わってきました。

このように、やり方を少し変えたため、全体で練習をスタートしたのが例年の2週間遅れとなりましたが、上学年児童は、自分がやりたい楽器ができる喜びと、朝の「かんどっ子タイム」での必死な練習（放課後練習をしている子どももいました。）とで、だんだん上手になっています。

下の写真は、5、6年生が1、2年生に竹太鼓のやり方の指導をしているところです。全校練習が始まるまでのわずか5分間ですが、自主的に指導役を買って出ている子どもたちの表情は、とても生き生きしていました。

「かんどっ子タイム」での教え合いも含めて、マンツーマンで教えてもらっている下学年（特に、1・2年生）の子どもたちは、やさしく丁寧に教えてもらえて、とてもうれしそうです。本校が目指している「ロールモデル」を、子どもたちが自分たちで実行していくことで、さらに、「いじめのない学校」へと向かっていけるよう、取り組みを進めていっているところです。

7/3（金）には、毎年、砂見太鼓の指導をして下さる講師の北山先生から、「例年よりも音がよくそろっていてまとまっている。」とほめていただいたほどです。やはり、互いに信頼し合っている人間関係がないと、和太鼓のよい響きは出せないのだなと感じています。

